

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名： 児童・家庭福祉論			担当教員 氏名： 清水 雄一			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	社会福祉士国家試験基礎受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			テキストだけで理解が不十分な部分の説明として、対人的なものなど具体的実践の中での事例を取り上げることで、理解が促進される。			
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
<ul style="list-style-type: none"> 児童・家庭福祉制度の発展過程について理解する。 児童の権利について理解する。 相談援助活動において必要となる法制度等について理解する。 					児童福祉 権利 相談	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7	
A	知識・理解力		児童福祉分野における総合的な知識力を高めることができる。			
B	専門的技術		相談援助に必要な情報や技術を身につけることができる。			
C	論理的思考力		児童相談援助のプロセスを理解することで思考力を身につけることができる。			
D	問題解決力		事例を検討することで問題解決能力を高めることができる。			
G	倫理観		児童の権利擁護について考えることで自己の人格的成長を図ることができる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 10 %		レポート： 45 %		発表： %		実技試験： %
その他： 45 %						
<p>特記事項： 上記の「その他」においては、授業中の態度、演習での発言、発表等で評価する。</p> <p>・本科目ではアクティブラーニングの一環として、グループワーク(事例検討等)を行う。</p>						
<p>アクティブラーニング要素：</p> <p>課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク</p>						
<p>テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 毎回の終わりに、疑問点や勉強になったこと、面白いと感じたことなど所感をミニレポートにまとめて提出とする。</p>						
<p>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： レポートはコメントを付けて学生にフィードバックする。</p>						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、子ども・家庭福祉の基本的な視点、考え方				【予習・復習】テキストを読む		30分
②子ども家庭福祉とは何か 子どもと家庭の権利保障				【予習・復習】テキストを読む		30分
③子ども家庭福祉とは何か 子ども家庭福祉の発展				【予習・復習】テキストを読む		30分
④現代社会と子ども・家庭 子育て、子どもの成長、発達、子育て環境				【予習・復習】テキストを読む		30分
⑤現代社会と子ども・家庭 子どもの育ち、子育てのニーズ				【予習・復習】テキストを読む		30分
⑥子ども家庭福祉にかかわる法制度 子ども・子育て支援制度、法体系				【予習・復習】テキストを読む		30分
⑦子ども家庭福祉にかかわる法制度 子ども家庭福祉の実施体制・財政				【予習・復習】テキストを読む		30分
⑧子ども家庭福祉にかかわる法制度 子ども家庭福祉の専門職、権利擁護				【予習・復習】テキストを読む		30分
⑨子ども家庭福祉にかかわる福祉・保健 子どもの貧困の防止、母子保健				【予習・復習】テキストを読む		30分
⑩子ども家庭にかかわる福祉・保健 障害・難病のある子ども、健全育成				【予習・復習】テキストを読む		30分
⑪子ども家庭にかかわる福祉・保健 保育・子育て支援、ひとり親家庭				【予習・復習】テキストを読む		30分
⑫子ども家庭にかかわる福祉・保健 社会的養護、非行児童、情緒障害児童				【予習】テスト範囲を覚える		60分
⑬子ども家庭にかかわる福祉・保健 児童虐待対策、女性福祉				【予習】テスト範囲を覚える		60分
⑭子ども家庭福祉援助活動 相談援助活動、施設ケア、ネットワーク(地域)				【予習】テスト範囲を覚える		60分
⑮まとめ と 振り返り				【予習】テスト範囲を覚える		60分
使用テキスト： 新・社会福祉士養成講座 15「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」第7版(中央法規)				その他参考文献など： 自分なりに福祉施設等での実践経験を基にまとめたものを、レジュメとして最初にお渡ししたいと思います。		
<p>受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 学んだことでも、対人的な具体的実践の中では、どうしてよいか分からずに途方に暮れるということもある。将来、現場に出た際に、できるだけ不要な失敗を避け、より適切な取捨選択ができるよう手助けになればありがたい。とにかく、気軽に質問していただき、納得いくまで対話できたら嬉しい。</p>						